

第21回県中学校春季野球大会 生保内中学校が優勝の報告に！

秋田県中学校体育連盟が主催する、第21回県中学校春季野球大会が5月19日から21日まで由利本荘市で開催され、郡市の予選を勝ち上がった12チームが出場しました。

21日、水林球場で生保内対仙南の決勝が行われ、初回に挙げた2点を守りきった生保内中学校が2対0で初優勝を飾りました。

23日には、倉橋重吾主将、荒木田竜之副主将、部長の木元先生、監督の青池先生、堀川校長先生が田沢湖庁舎を訪れ、石黒市長に優勝の報告をしました。



優勝旗を手に報告に訪れた生保内中学校野球部関係者



慣れない手つきで肥料を与える生徒たち

来年もきれいな花を咲かせて！ 角館中学校2年生が桜並木にお礼肥

角館中学校の2年生118人が、桜まつりで一番多く観光客が訪れる桧木内川堤の横町橋から古城橋までの区間約800m、160本の桜並木に肥料を与える「お礼肥」の体験学習を行いました。

昭和63年からスタートしたこの学習は、毎年角館中学校2年生が行う恒例の活動として受け継がれ、今年で19回目となります。

お礼肥の作業に汗を流した生徒たちは、「桜の大切さを改めて感じた」「桜を守る作業に参加したことで、来春きれいに咲く桜が今から楽しみ」と感想を話していました。

「生き方を学ぶ集会」～石井浩郎氏を迎えて～

生保内中学校の生徒会が進路学習の一環として企画した「生き方を学ぶ集会」が、5月31日に石井浩郎氏（本県出身、元プロ野球選手）を迎えて行われました。

会には生保内中学校の生徒と生保内小学校の6年生が参加し、中学生二人の司会で生徒の質問に石井氏が答える形式で進められました。「選手時代、練習量は多かったですか」という質問に石井氏は「練習量は多かった。理由は、練習し準備をしっかりとっておけば自信をもってプレーできる。さぼってしまえば自信をもってプレーできず、後で後悔する。それは野球以外、たとえばテストなどでも同じ」と答えていました。会の最後に「中学生生活はあっという間に過ぎてしまう。あの時頑張ればよかったと思っても、やり直すことはできない。悔いのない生活をしてほしい」と話していました。



平成18年度田沢湖地区春季野球大会結果

6月4日(日)市営球場他

優勝

田沢ブッチャー

準優勝

丸八倶楽部

個人表彰

最優秀選手賞

千葉祐介選手

(田沢ブッチャー)

優秀選手賞

中本貴之選手

(田沢ブッチャー)

敢闘賞

田口徹選手

(丸八倶楽部)

敢闘賞

田口秀典選手

(田沢ブッチャー)

敢闘賞

猪本直樹選手

(北光金属工業)

チーム表彰

マナー賞 田沢ブッチャーチーム